



2018年2月

使用上の注意改訂のお知らせ

選択的セロトニン再取り込み阻害剤

セルトラリン錠25mg「科研」 セルトラリン錠50mg「科研」 セルトラリン錠100mg「科研」

Sertraline Hydrochloride Tab.

塩酸セルトラリン錠

このたび、標記製品の「使用上の注意」を改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。
今後のご使用に際しましては、下記の内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

■改訂内容（ _____ : 改訂・追記部分）

改訂後			改訂前															
【使用上の注意】 3. 相互作用 省略（変更なし） (2)併用注意（併用に注意すること）			【使用上の注意】 3. 相互作用 省略 (2)併用注意（併用に注意すること）															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メチルチオニ ニウム塩化物 水和物(メチレ ンブルー)</td> <td>セロトニン症候群 があらわれるおそ れがある。</td> <td>左記薬剤の MAO 阻害作用により セロトニン作用 が増強されると 考えられる。</td> </tr> <tr> <td>リネゾリド</td> <td colspan="2">(省略、変更なし)</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	メチルチオニ ニウム塩化物 水和物(メチレ ンブルー)	セロトニン症候群 があらわれるおそ れがある。	左記薬剤の MAO 阻害作用により セロトニン作用 が増強されると 考えられる。	リネゾリド	(省略、変更なし)		←追記		<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リネゾリド</td> <td colspan="2">(省略)</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	リネゾリド	(省略)	
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																
メチルチオニ ニウム塩化物 水和物(メチレ ンブルー)	セロトニン症候群 があらわれるおそ れがある。	左記薬剤の MAO 阻害作用により セロトニン作用 が増強されると 考えられる。																
リネゾリド	(省略、変更なし)																	
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																
リネゾリド	(省略)																	
4. 副作用 (2)その他の副作用 次のような副作用が認められた場合には、必要に 応じ、減量、投与中止等の適切な処置を行うこと。			4. 副作用 (2)その他の副作用 次のような副作用が認められた場合には、必要に 応じ、減量、投与中止等の適切な処置を行うこと。															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>頻度</th> <th>頻度不明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分類</td> <td>(省略、変更なし)</td> </tr> <tr> <td>筋・骨格系</td> <td>背部痛、関節痛、筋緊張異常（筋硬直、筋 緊張亢進、筋痙攣等）、開口障害</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(省略、変更なし)</td> </tr> </tbody> </table>	頻度	頻度不明	分類	(省略、変更なし)	筋・骨格系	背部痛、関節痛、筋緊張異常（筋硬直、筋 緊張亢進、筋痙攣等）、開口障害		(省略、変更なし)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>頻度</th> <th>頻度不明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分類</td> <td>(省略)</td> </tr> <tr> <td>筋・骨格系</td> <td>背部痛、関節痛、筋緊張異常（筋硬直、筋 緊張亢進、筋痙攣等）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(省略)</td> </tr> </tbody> </table>		頻度	頻度不明	分類	(省略)	筋・骨格系	背部痛、関節痛、筋緊張異常（筋硬直、筋 緊張亢進、筋痙攣等）		(省略)
頻度	頻度不明																	
分類	(省略、変更なし)																	
筋・骨格系	背部痛、関節痛、筋緊張異常（筋硬直、筋 緊張亢進、筋痙攣等）、開口障害																	
	(省略、変更なし)																	
頻度	頻度不明																	
分類	(省略)																	
筋・骨格系	背部痛、関節痛、筋緊張異常（筋硬直、筋 緊張亢進、筋痙攣等）																	
	(省略)																	

■改訂理由

同一成分薬の使用上の注意の改訂に伴い、自主改訂により「併用注意」および「その他の副作用」の項を改訂いたしました。

なお、改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE 医薬品安全対策情報（DSU）No.267」（2018年3月）に掲載されます。また、改訂後の添付文書全文につきましては、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構のホームページ（<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>）、または弊社ホームページ（<http://www.kaken.co.jp/>）でご確認ください。



発売元
科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込2丁目28-8

DAITO

製造販売元
ダイト株式会社
富山県富山市八日町326番地